

梅郷礼拝堂

設計 | 加藤詞史 / 加藤建築設計事務所



CoretokyoWeb

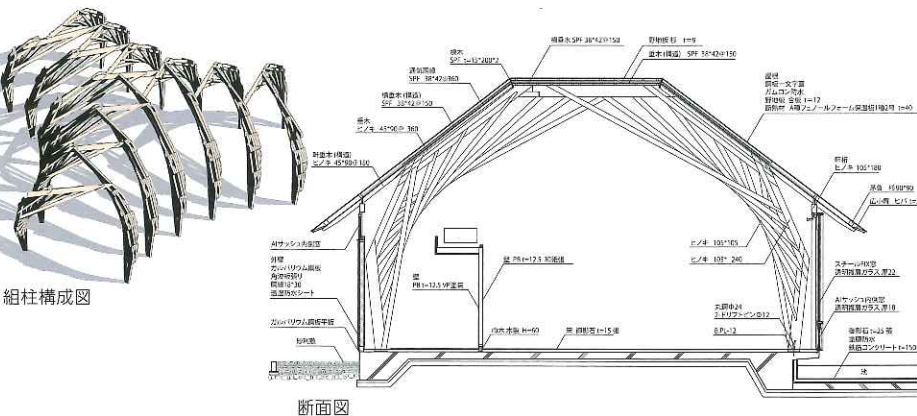
建築主 宗教法人 大師山報恩寺、株式会社 笹川
 設計 一級建築士事務所株式会社 加藤建築設計事務所
 施工 株式会社 渡辺富工務店
 所在地 千葉県野田市
 主要用途 寺院
 構造 木造
 階数 地上1階
 敷地面積 2,970.85㎡
 建築面積 220.41㎡ 延床面積 193.58㎡
 工事期間 2015年11月～2016年6月
 撮影 * 畑 拓 ** 加藤 詞史



南側より俯瞰。屋根は3つの方向に延びる。



内陣から池側を見る。相持ちによる105角ヒノキ材の架構。



場所を書き換えて柔らかな公共性を得る

建物は、美しい竹林、日本庭園、盆の行事等を行う池の3方向に沿ってのびる柔らかな曲線を持ち、自然と一体となった(宗派不問の)新しい考え方に基づいた礼拝施設である。

1395年、野田市内に創建された寺院の別院で、廃寺となった寺院の再興。新たに礼拝堂を建て古い霊園を整備、新住職をおく計画。

今後100年単位で使用される祈りの場所には、新しい使われ方を実現していくプランニングと長持ちする性能が重要であると考え、多様な活動を促す平面計画、祈りの対象としての屋根と架構、経年変化に対する木仕口を、その解とした。

この空間の実現を、組柱が相持ちで支え合った架構で構想。構成は身近な材の集積が特徴で、場所の力を総合的に高めている。寺院が地域に対して、どのように開き、接点をもつかを課題として、運営とさまざまな催事に取り組んできた。寺院が地域を結び広がる顔の見えるつながりが重要になると考えている。(加藤 詞史)



基本となる3つの組柱の施工段階。

加藤 詞史 (かとう・ことふみ)
 1964年 岐阜県生まれ / 1989年 早稲田大学理工学部建築学科卒業 / 1991年 同大学院理工学研究科修士課程修了 / 1991～2003年 池原義郎・建築設計事務所 / 2006年～ 加藤建築設計事務所主宰 / 2008～10年 早稲田大学建築学科助教 / 2010年～早稲田大学理工学研究所研究員他